

社会福祉法人 林檎の里

あおぞら

Vol.3

目次

理事長挨拶	1P
日々の活動より	2P
障がい福祉の現場から	4P
専門職からのインフォメーション	4P
事業所紹介	6P
決算報告	7P
癒しのひととき	8P
インフォメーション	8P
寄付御礼	8P



『SaKaNa』～アートワークより～

私ども社会福祉法人「林檎の里」が、旧三水村芋川の地に自閉症支援施設「あおぞら」を開設してから 22 年が経過しました。その後、町内にグループホーム 4 カ所と日中活動支援センター、長野市上駒沢地区にも 2 施設を開設し、多様な形態での障がい者の皆さまへの支援事業を拡大してきました。現在、利用者 104 名、支援する職員 75 名が生活をともにしています。

今日に至るまでに、三水地区の皆さまのご理解とご協力、また飯綱町行政の支援に心から感謝申し上げます。

日本の社会は今、コロナ感染症の拡がり、2 千万人の非正規雇用、貧困世帯の増加など社会的弱者と言われる人々が増え続けており、“生きづらさ”を日々経験されている方も少なくありません。国の政治と共に地方政治においても福祉政策の充実、発展が求められています。個人が自らの生き方を主体的に追求できることそれ自体に価値があり、そのための条件整備を図ることが、社会保障の究極的な目的です。

飯綱町は、発足以来、住民福祉の向上に力を尽くしてきました。人口約一万人の飯綱町内に、高齢者福祉・障がい者(児童)福祉事業所 26 カ所、利用者は 1,033 人(7/31 現在)おられます。利用者の皆さんは、各種の福祉サービスをご利用されることで、日々の暮らしが豊かになっています。福祉の力が生きています。

願わくば、飯綱町の特徴の一つに“福祉の里づくり”を掲げてほしい。障がいのある方をはじめ社会的弱者といわれる人々にやさしい地域と住民であってほしいと願っています。

私ども、社会福祉法人は、法律により社会貢献事業に積極的に取り組むことが義務付けられています。町行政や他の福祉施設と協力し合いながら、地域福祉の充実、前進のために頑張っていきたいと決意を新たにしています。

社会福祉法人 林檎の里
理事長 寺島 涉

日々の活動より

自閉症支援施設あおそら（施設入所）

それぞれの表現を大切に

あおそらでは、定期的に『アートワーク』と称した活動をしています。皆で太鼓やタンバリン等の打楽器を叩いたり、自由に絵を描いたり書をしたためたりします。

表紙の『SaKaNa』は、あおそらの利用者・職員皆で色を塗った合作です。今は、あおそらの玄関に入って正面の壁に飾ってあります。

コロナ禍において気軽に外出できない利用者の皆さんも、とても良い笑顔で活動に参加されています。



地域貢献・総合相談所 ・飯綱町地域活動支援センター
・相談支援室あおそら

お独りで悩まず、ご相談を

令和2年4月より飯綱町多世代交流施設「メーラプラザ」において、飯綱町から委託を受けて「飯綱町地域活動支援センター」の業務を開始して3年目になりました。

町内に暮らしている障がいのある方たちが気軽に立ち寄り、仲間と交流したり、個人に合った様々な活動を楽しまれています。

また、困り感を持ちながらもお独りで悩まれている方の「繋がる場」としても「ちかつセンター」を利用いただいています。



「相談支援室あおそら」が行う相談支援事業では、障がいのある方が福祉サービスを利用するための相談支援（計画相談）を行っています。ご本人の希望や困っていることをお聴きしながら、望まれる生活が実現できるよう、飯綱町や福祉事業所、ご家族や関係者と一緒になって、適切な福祉サービスの組み合わせを提案します。

ひさしぶり お楽しみイベント！

地域支援部では毎年恒例行事があります。春はお花見、夏は流しそうめん・BBQ・海水浴、秋は紅葉狩り、冬はスキー場。令和2年度に開所した飯綱町日中活動支援センターでは、開所からコロナ禍で全て中止…

しかし、今年3年ぶりに流しそうめんを行うことが出来ました。みんなでワイワイはまだ出来ませんが、一人ずつ、皆さんすくい方を体で覚えておりタイミングもばっちり！普通に食べるよりおいしさ百倍です♪久しぶりに楽しむことが出来、ようやく【夏】を実感できました。



また、コロナ禍からスタートした体育館を借りての運動会。広い空間で年に1回の団体活動は新たな恒例行事になりそうです。出来ること、出来ないことはまだまだありますが、心の健康の為に、“地域の恒例行事”を今後も大事にしていきたいです。

グループホーム

穏やかな暮らしの中に楽しみを

グループホームの平日の生活は夜が主体。ホームへ帰宅し、【入浴・夕食・自由時間・就寝・起床・朝食・日中の場へ出勤】と毎日同じルーティンで過ごされます。土日は、居室でゆっくりテレビや音楽鑑賞、時にドライブ、スタッフが調理する姿を一日中眺めて過ごすなど、各々本当にゆ〜っくり過ごされます。



この毎日の生活リズムを大事に、少しずつ生活の幅を広げられるよう、その方が自分で出来る事や興味のある事はどんどんチャレンジしていただいています。先日もホームの中をみんなで協力してプチDIYをしました。

穏やかな日常の中にも楽しみがある、皆さんのそんな暮らしを支えていけるようスタッフも頑張っています。

障がい福祉の現場から～職員の声～

私は今まで、福祉の仕事にはあまり興味や関心はありませんでした。人を支えるという仕事はとてもやりがいがあって魅力的な反面、ニュースや知人からの話を聞くと「大変」という言葉をよく耳にしました。そんな中、何の知識もなく始めた福祉の仕事は、思っていたよりもいろんな感情に毎日動かされています。不安になる時もありますが、利用者さんがニコニコと笑顔を向けてくれた時はとても嬉しく心が温かくなります。また、安心感をもらい頑張ろうという気持ちになります。

(施設入所支援員 M)

私は、昔から福祉には興味があり、介護現場での経験もあります。

今回障がい福祉の現場で働いてみて、明確な正解がないので難しい仕事ではありますが、その分試行錯誤を重ねてサポートが上手くいった時は、ガッツポーズがでるくらいやりがいがあり、喜べる仕事だと感じています。

今後も一人一人の利用者様がより安定した生活が送れるように、日々精進して参りたいと思います。

(作業療法士 I)

専門職からのインフォメーション

コロナ禍における秋冬の健康管理ポイント

すっかり秋らしい天気になってきました。特に朝と夜は、肌寒く感じる毎日です。この時期は、風邪を引きやすい季節でもあり、空気が乾燥してくる季節でもあります。空気が乾くと、喉も乾いて痛くなったり、手などの皮膚もカサカサになって痒くなったりします。こまめな水分補給をして喉を守ったり、皮膚にはクリームを塗ったりしましょう。

この冬もコロナもインフルエンザにも備えていかなければなりません。健康管理に努めていきましょう。

(看護師 A)

～お子様のいらっしゃる方へ～

コロナ禍で色々なイベントが変わってきていますが、秋の大きなイベントの一つに音楽会があると思います。

発達障害を持つ方には結構大変なイベントの一つだと思います。

ただでさえイレギュラーが苦手なのに、リズムや音程をとるのが苦手、手先に不器用さがあれば楽器の操作が難しいなど、難易度が高いイベントだと思います。姿勢が悪いと注意されるのも苦手意識を強くしてしまう要因だと思います。

私の知っているお子さんは、毎年、すみっこで見学をしていました。先生や親御さんは何とか参加して欲しいと色々工夫していましたが、どうしても参加したくなかったようです。

その子が6年生になった時、なぜか一度も嫌と言わずに音楽会に参加できたそうです。きっと、毎年、経験を蓄積していたので6年生になって「いつもの音楽会ならできそう！」とイレギュラーからレギュラーになったのだと思います。

早くコロナが終息して「いつもの生活」に戻れると良いなと思います。

(作業療法士 T)

秋の果物で健康な身体を

秋は夏の疲れの影響を引きずって、お疲れモードになりがちな時期です。そんな身体にうれしい効果が期待できるのが、秋ならではのフルーツたちです。

長野県を代表する「りんご」や「梨」「柿」「栗」「イチジク」など、美味しい果物がたくさんあります。

秋が旬の食べ物に栄養価が高いものが多いのは、食物自身が冬の厳しい寒さを越せるように備えているからなのだから…
「昔から旬の食べ物は体に良い」といわれてきましたが、秋のフルーツをとることは私たち人間にとっても、寒さに負けない身体づくりに役立つということ。

旬の食べ物を上手に取り入れて、毎日の食生活から健康な身体を作っていきましょう！

(栄養士 O)

～事業所紹介～

林檎の里は、飯綱町芋川地区にあります自閉症支援施設
あおぞらを中心に、障がいをお持ちの方が数名のグループで
生活するグループホームと、日中の活動を行う施設を運営
している法人です。

法人ホームページ

QRコードはこちら→

社会福祉法人林檎の里 検索



法人本部

自閉症支援施設 あおぞら

〒389-1201 飯綱町大字芋川 6013-6

Tel 026-253-1299



相談支援室 あおぞら

<飯綱町メーラプラザ内>

〒389-1206 飯綱町大字普光寺 920

Tel 026-253-7519



グループホーム



ひこうき雲



つばさ



ひまわり



ふなくぼ

グループホームひこうき雲 〒389-1204 飯綱町大字倉井 1986-2

グループホームつばさ 〒389-1206 飯綱町大字普光寺 296-3

グループホームひまわり 〒389-1201 飯綱町大字芋川 89-5

グループホームふなくぼ 〒389-1206 飯綱町大字普光寺 555

※日中帯は法人本部へご連絡ください。

tel 026-253-3540(夜間)

tel 026-253-4130(夜間)

tel 026-253-4825(夜間)

tel 026-253-3160(夜間)

**飯綱町
日中活動支援センター**

〒389-1206

飯綱町大字普光寺 296-10

Tel 026-219-2057



長野市

グループホーム上駒沢

〒381-0082

上駒沢 908-11

Tel 026-295-2297



**あおぞら
日中活動支援センター**

〒381-0082

上駒沢 909-10

Tel 026-296-5337



令和3年度 決算報告書【概要版】

〔事業活動計算書〕

事業活動計算書とは、一会計期間における経営活動の成果、すなわち法人の純資産がどれだけ増加したかを、その増減要因別に明らかにしたものです。収益(増加要因)から費用(減少要因)を控除して、利益である増減差額(純増加額)を表しています。

その中でも重要な経常増減差額は、法人の通常の事業活動による成果を示しています。これらの増減差額を原資として、将来の法人運営の財源となる積立等をつつ、純資産が増えていくことが望ましい経営状態となります。また、建物等の長期的に使用する固定資産は、耐用年数に応じて費用を計上しますが、これを減価償却費といい、再投資に対する目標値とされています。

当法人では今年度、減価償却費が20,101千円となり、これに対応する法人運営の財源となる積立金は46,000千円です。また、当期活動増減差額は26,104千円で純資産が増加しており、健全な経営状態となっています。

項目		決算額(千円)	内容説明	
収益	介護給付費収益	423,997	介護保険からの給付費収益	
	事業内訳	自閉症支援施設あおぞら	236,711	定員40人 年延数:14,610人(施設入所)10,380人(生活介護)
		日中活動支援センター	98,234	定員40人 年延数:7,820人(生活介護)
		グループホーム	89,037	定員26人 年延数:8,761人(共同生活援助)
		相談支援室	15	計画相談支援給付費(相談・ケアプラン作成等):6人
	利用者負担金収益	55,450	利用者負担金(食事代、水道光熱費、日用品費等)	
	その他の収益	20,873	補助金・受託金・寄付金・利用者外給食収益・預金利息等	
経常収益(A)		500,320		
費用	人件費	343,469		
	事業費	109,404	給食費24,378千円 業務委託費19,402千円 水道光熱費13,045千円 消耗器具備品費9,126千円等	
	減価償却費	20,101	固定資産の時間経過による価値の減少費用	
	その他の費用	1,242	利用者外給食費・借入金支払利息等	
	経常費用(B)		474,216	
経常増減差額(C) = (A) - (B)		26,104	*法人の通常の事業活動により生じた増減差額(経常利益)	
特別増減差額(D)		0		
当期活動増減差額(E) = (C) + (D)		26,104	*法人の一年間における最終増減差額(最終利益)	
前期繰越活動増減差額(F)		182,028	事業開始から前期末までの利益の累計額	
繰越活動増減差額(G)		46,000	当期積立金積立額46,000千円	
次期繰越活動増減差額(E) + (F) - (G)		162,132	事業開始から当期末までの利益の累計額	

〔貸借対照表〕

貸借対照表とは、決算日(3/31)時点の法人が所有する資産(財産等)と、負債(借入金等)、純資産(寄付金等)の状況を示したものです。

資産は運用形態(財源はどのように使われているか)、負債・純資産は発生源(財源はどのように調達しているか)を表しています。

当法人では、流動資産が流動負債よりも上回っており短期的な資金繰りは良好な状態となっています。また、負債及び純資産合計に占める負債合計の割合が小さいため、債務への依存度が低く安定した状態となっています。

資産(どのように使われているか)		内容説明
項目	決算額(千円)	
流動資産	134,436	*短期的に使用する資産
現金預金	54,734	法人の運転資金
未収金	79,702	未入金の介護給付費、補助金等
固定資産	638,266	*長期的に使用する資産
土地・建物等	457,910	事業用の土地、建物、附属設備等
器具及び備品等	22,745	事業用の器具備品、機械装置、車等
退職給付引当資産	22,295	職員退職金のための外部への積立金
施設整備等積立資産	134,200	運営・施設整備のための積立金
その他の固定資産	1,116	
資産合計	772,702	(負債・純資産の合計額と一致)

負債(どのように調達しているか)		内容説明
項目	決算額(千円)	
流動負債	34,898	*短期的に支払義務のある債務
未払金等	13,333	未払となっている業者等への支払
リース債務	1,634	1年以内に返済するリース料
賞与引当金	19,931	翌期賞与に係る当期負担見込額
固定負債	26,295	*長期的に支払義務のある債務
リース債務	4,000	返済までに1年を超えるリース料
退職給付引当金	22,295	職員退職金のための債務
負債合計	61,193	
純資産(どのように調達しているか)		内容説明
基本金	202,365	法人設立時の寄付金等
国庫補助金等特別積立金	212,812	固定資産整備の財源となった補助金
施設整備等積立金	134,200	積立資産に対応する積立金
次期繰越活動増減差額	162,132	事業により増加した純資産額
純資産合計	711,509	*資産と負債の差額・法人の純財産
負債及び純資産合計	772,702	(資産の合計額と一致)



癒しのひととき...



癒し担当にゃんこ支援員、くろですにゃ!
あおぞらでは、よく遊んでもらっています
みんな優しいにゃ～



利用者さんはもちろん、
職員も休憩時間には
くろにゃんと触れ合って
癒されています!

◇ インフォメーション ◇

相談支援室あおぞらでは、『あおぞらよろず相談窓口』を開設しております。障がい起因する困り感や生きづらさなど、解決に向けて相談員と一緒に考えます。

相談の費用もかかりませんので、まずはお電話を、お待ちしております。

TEL:026-253-7519

開設日時:毎月最終金曜日 10:00～15:00

場 所:メーラプラザ(飯綱町多世代交流施設)

Eメール:soudan-aozora@ngn.janis.or.jp



寄 付 御 礼

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク・消毒液等を関係団体等の皆様より ご寄付を賜りました。心より御礼申し上げます。

- 厚生労働省福祉 4 部局マスクチーム(マスク)
- 社会福祉法人 廣望会様(タオル他)
- 社会福祉法人 親愛の里様 (カップラーメン詰め合わせ)
- 社会福祉法人 明星会様(手指消毒)
- 飯綱町社会福祉協議会様(防護服)
- ながさき医院様(使い捨てグローブ・防護服・フェイスシールド)
- 飯綱町健康管理センター様(防護服セット・フェイスシールド・使い捨てキャップ)
- 飯綱病院様
(フェイスシールド・マスク・防護服セット・抗原検査キット・手指消毒・オゾン発生装置)
- 長野保健福祉事務所様
(使い捨て手袋・使い捨てキャップ・マスク・ゴーグル・フェイスシールド)
- 公益社団法人 24時間テレビチャリティー委員会様(CO2 センサー)
- 北部地区自立支援協議会様(防護服セット・使い捨て手袋・除菌シート)

令和4年7月20日現在

編集後記

今回の発刊にあたり、コロナ禍の状況が続き今だ活動に制限もある状況の中、どんな記事を掲載すればよいか、試行錯誤もありました。そんな中で『今できること』をテーマとして取り組みました。

次号では、さらに楽しい内容のご報告、情報をお届けできると良いなあと願っております。(広報委員)

発行日:令和4年10月1日

発行:社会福祉法人 林檎の里

住所:〒389-1201

上水内郡飯綱町大字芋川 6013-6

Tel:026-253-1299

Fax:026-253-5122

E-mail:aozora@ngn.janis.or.jp

URL:http://www.ringonosato.or.jp